



NIEワークシート／小学校高学年～高校／理科・社会・総合

神戸新聞 2021年10月06日 水曜日 面名 朝一 14 1ページ



真鍋淑郎氏ノーベル賞

物理学

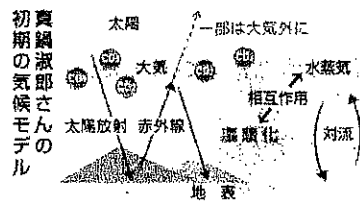
地球温暖化予測に貢献

気候変動のモデル開発

真鍋 淑郎氏（まなべ しゅじろう）1931年9月21日、愛媛県大洲市出身。58年東京大学理学部物理学科卒業。60年米プリンストン大上席研究員として米海洋大気局上席研究員を経て米プリンストン大上席研究員。75年米国籍取得。92年旭硝子財団のブループランネットワークで受賞した人。過去にいない。非常に光栄に感じると喜びを語った。

授賞理由は「地球の気候と地球温暖化の予測に関する物理学への貢献」。地球科学が自然現象分野のノーベル賞を受賞するのは初めて。真鍋氏は米東部ニュージャージー州プリンストンの巨匠気象学者に「気候物理学」というニックで愛された人。過去にいない。非常に光栄に感じると喜びを語った。

授賞理由は「地球の気候と地球温暖化の予測に関する物理学への貢献」。地球科学が自然現象分野のノーベル賞を受賞するのは初めて。真鍋氏は米東部ニュージャージー州プリンストンの巨匠気象学者に「気候物理学」というニックで愛された人。過去にいない。非常に光栄に感じると喜びを語った。



ノーベル物理学賞の受賞が決まり、米東部ニュージャージー州プリンストンの自宅で喜びを語る真鍋淑郎氏（左）。

真鍋淑郎さんの初期の気候モデル

真鍋氏は、1950年代から気象に関する研究に従事。60年代には、太陽から地表に届いた熱と、大気の循環がどのように相互作用するかを分析するモデルを開発。地表で反射した赤外線が、CO₂や水蒸気などの温室効果ガスに吸収されて生じる気温の変化を計算し

た。CO₂濃度が2倍になると、気温が2度以上上昇するとの結果が得られた。その後も研究を続け、大気の流れと海洋の循環を組み合わせて、長期的な気候の変化をシミュレーションする「大気海洋結合モデル」も開発した。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が90年にまとめた報告書に関する第1次評価報告書の執筆者にもなった。

2氏と共同受賞
クラウス・ハッセルマン氏
1931年、ドイツ生まれ。89歳。1957年にドイツで博士号取得。現在はラウス・プロブスタイン研究所教授。



ジョルジョ・パリジ氏
1948年、イタリア生まれ。73歳。70年にローマで博士号取得。現在、同大教授。イスラエルのウルブ賞など受賞。



名前【 】

①5日、2021年のノーベル物理学賞を受賞した日本人の名前を書きましょう。

・米プリンストン大上席研究員

②受賞理由は何ですか

③日本人のノーベル賞受賞者としては何人目ですか。 人目

④真鍋氏の研究では、地表で反射した赤外線が、CO₂や水蒸気などの温室効果ガスに吸収されて生じる気温の変化はどのような結果が得られましたか。

CO₂濃度が との結果

⑤真鍋氏とノーベル物理学賞を共同受賞した二人を書きましょう。

 氏

 氏

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

<漢字練習>

① 次の語句の読み方を書きなさい。

ア、温暖 () イ、貢献 () ウ、快挙 ()
エ、循環 () オ、反射 ()

② 次の語句を漢字で書きなさい。

ア、じゅしょう イ、よそく ウ、こうえい
エ、すいじょうき

6 この新聞記事を読んで感想を書きましょう。105字、150字、好きな方を選びましょう。

年 組 番 名前 ()